

中部標準化懇話会 2022年度 第2回例会 報告

開催日 : 2023年2月3日 13:30~15:00

会場 : 日本規格協会 名古屋支部 セミナーホール 及びwebオンライン開催

講演者 : 森 政伸氏 インターテック・サーティフィケーション株式会社
JIS登録認証事業部 審査員・技術士

テーマ : JIS マーク表示制度 ~指摘事項・よい事例等、最新審査情報~

スケジュール : 13:30~14:30 講演
14:30~15:00 ディスカッション(Q&A)

作成者 : 例会幹事 梅田 政成 記

報告記 : JIS 認証活動を、以下4つのテーマで説明頂いた。メインは 3, 4 であった。

1. JISCBA の主な活動内容

- ・JIS 登録認証機関協議会。登録認証機関が理念を共有し連携することで、JIS マーク表示制度の信頼性/公平性/統一性の確保を図り、JIS の普及・発展への貢献目的で設立。
- ・主な活動、会員間の意見交換、主務官庁からの意見照会回答、提案、JIS マーク商品購入者との意見交換、審査業務等。

2. 認証の現状

- ・「鋳工業及びその加工技術」分野('22年7月現在)で、認証件数 8246 件、増減—101 件('21年7月比) 新規 121 件、取消3件、一時停止 17 件。

3. (審査における) 指摘事例と是正の概要(下記一部記載します。)

- ・「試験員の力量評価方法で、手順及び力量の定期見直しの手順が確認できない」指摘について。力量評価事項は、知識としての資格要件だけでなく、当該製品試験を実施できるかどうかの力量基準が必要。
- ・「包装材のビニル袋に旧 JIS マークが印刷されている」との指摘に於いて、「過去の包装材が大量に余っていた」「JIS マーク重要性意識の欠如」と不適合の原因があげられているが、原因の掘り下げが浅い。再発させない原因突き止めと対策が必要。
- ・原因の掘り下げが浅い、甘いものは複数見られる。本当の原因を突き止め対策してほしい

4. 品質管理等のよい事例

- ・事例紹介で、工場の差なる品質向上ヒントとなるよう紹介頂いた。
- ・品質管理責任者が率先して定期的に「力量維持向上コース」QC大会等に参加。就業者の教育実施。
- ・品質記録の管理で、PC入力後破棄していた野帳を、電子化してサーバー保存。
- ・原材料管理で、変更時に、原材料メーカーに過去1年分の検査データ提出要請し品質変化確認。
- ・検査記録に入力ミスがあり、審査でそれを指摘したところ、サーバー内に電子保管されていた野帳を確認し、入力ミスであることが確認できた。

審査活動で見られた、品質管理上の良くないところ、良いところを多数紹介頂いた。JIS に関わらず、品質向上活動として、参考になる講演会だった。

以上